

～私たちは「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルート（NCR）指定を目指しています！～



鳥取県西部ブランディングプロジェクト「大山時間」

参加費無料!

国土交通省「自転車活用推進功績者」団体表彰

大山時間
DAISEN JIKAN

受賞記念シンポジウム & 徳島大学サイクルツーリズム講座in鳥取

日時：9月12日（木） 受付：15時30分 開会：16時00分

会場：さなめホール《米子市淀江文化センター》

米子市淀江町西原708-4(淀江支所隣り) TEL:0859-39-4050

【第1部】大山時間の自転車活用推進功績者受賞報告

令和元年度から取り組んできました、商工会サイクルツーリズム事業「サイクリスト聖地化事業」の取組が国土交通省に評価され「自転車活用推進功績者表彰」を受賞しました。
これまでの取組内容と鳥取県のサイクルツーリズムの取組内容について報告をいたします。

基調講演「自転車活用推進の先にある地域経済活性化を目指して」

講師：（元）国土交通省 自転車活用推進本部 事務局次長 金籠史彦 氏

【第2部】徳島大学サイクルツーリズム講座in鳥取

【主眼テーマ】 大山時間の取組の深掘りと未来像の共有

* 鳥取のブランディング、サイクルツーリズムの実践にむけてのビジョン・課題

* 大山時間や県内事業者によるサイクリング取組の成功事例などの紹介

(株)ARCH 高橋 幸博代表

徳島大学 山中 英生教授、矢部 拓也教授



【シンポジウム・サイクル講座 参加申込書】

QRコードでの申し込みはこちら

FAX：0859-27-3781

<https://forms.gle/nUdwEZZ6Qkx6YM386>



※締切：9月5日（木）

事業者・自治体・団体名

お名前

第1部	参加（現地・WEB）	／	不参加
第2部	参加（現地・WEB）	／	不参加
連絡先	※WEB参加をご希望の方	メールアドレス：	

【お問い合わせ・お申し込み先】

鳥取県商工会連合会西部商工会産業支援センター 鳥取県西伯郡日吉津村日吉津 8 8 5 - 9

TEL：0859-37-0085 FAX：0859-27-3781 E-mail：tss-sect@tori-skr.jp

※当シンポジウムへの参加申し込みをされた方の個人情報、参加に伴う諸連絡に限って使用させていただきます。

■プログラム

[第1部] 大山時間「自転車活用推進功績者表彰」受賞記念シンポジウム 16:00～17:45	
≪目的≫ 今回の受賞に関して関係者内でお祝いをするとともに、大山時間の“現在地”再確認を通じて、関係各位が価値の共有を図り、地域の事業者・経済への寄与、また、これまでの成功事例を他の事業者へ伝えていくことで、サイクルツーリズムの受入環境の向上の更なる取組・波及につなげていく。 ≪主催≫ 「大山時間」(西部地区7商工会)・鳥取県商工会連合会西部商工会産業支援センター ≪協力≫ 鳥取県、大山山麓・日野川流域観光推進協議会・鳥取県商工会連合会	
(1)開会挨拶(大山時間)	(幹事商工会) 米子日吉津商工会 会長 土井一朗
(2)受賞報告・取組報告	西部商工会産業支援センター
(3)「鳥取県」取組状況報告	鳥取県
(4)基調講演	(元)国土交通省 自転車活用推進本部 事務局次長 金籠史彦氏
(5)質疑応答	
～ 休憩・場面転換 ～ 15分	
[第2部] 徳島大学サイクルツーリズム講座in鳥取 18:00～19:45	
≪目的≫ この度、自転車活用推進功績者表彰を受賞した大山時間の取組の成果や課題を多くの方々と共有するとともに全国へ発信することで、地域活性化につながるきっかけづくりとする。 ≪主催≫ 鳥取県 ≪協力≫ 徳島大学サイクルツーリズム講座、山中自転車研究所(YJK)、(株)ARCH、鳥取県商工会連合会	
(1)開会挨拶	(株)ARCH 代表取締役 高橋幸博 氏 徳島大学 山中英生 教授、矢部拓也 教授
(2)鳥取県内の取組事例紹介等	大山時間取組事業者が事業紹介(理念共有)
(3)クロストーク	今後に向けての議論： 県や大山時間、高橋先生、山中教授、矢部教授などを交えたクロストーク
(4)質疑応答	

「自転車活用推進功績者」表彰とは

自転車活用推進本部(国土交通省)の「自転車活用推進法」に基づき、自転車の活用推進に関し、特に顕著な功績があると認められる個人・団体に表彰されるものです。

鳥取県西部ブランディングプロジェクト「大山時間」では、地域課題(人口減少・地域企業の市場拡大)解決に向けて、サイクルツーリズムによる国外を含む域外からのサイクリング誘客を中心とした消費拡大を目的に地域ブランドの確立によるブランディングを推進。サイクリストの受入環境整備事業として機運醸成やサイクルツアーガイド養成・サイクルモニターツアー造成、情報発信等の実施が評価されました。

